

お客さまこんにちは

# 地下鉄博物館

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-3-1  
☎03-3878-5011 www.chikahaku.jp



丸ノ内線301号車(左)と  
国の重要文化財指定の地下鉄車両1001号車(右奥)

## 東西線葛西駅の高架下

その名の通り東京都心部を東西に貫く東京メトロ東西線。地下鉄博物館は沿線の葛西駅高架下にあります。(公財)メトロ文化財団が運営し大人220円、こども100円(4歳以上~中学生)と気軽にリピーターできる入館料がうれしい施設です。

## 日本初の地下鉄車両

自動改札機を抜けて館内へ。正面に丸ノ内線の赤い電車が見えました。1954(昭和29)年から96(平成8)年まで活躍した車両。ピンク色の内装、エンジ色のシートに懐かしさを覚える世代は少なくないでしょう。



エントランス

その隣が日本初の地下鉄車両1001号車です。黄色の車体は1927(昭和2)年、上野~浅草間で開業した当時の姿を再現。2017(平成29)年に国の重要文化財に指定されました。車内には入れませんが、豪華な内装が素敵です。

その先に進むと年表や記念切符などを展示し、地下鉄の歴史が学べます。東京メトロ各線の記念スタンプが並び、スタンプ帳はミュージアムショップ一番の売れ筋商品だそうです。

## 地下鉄の「いま」を知る

展示は地下鉄を「つくる」「まも



シールドマシンカッターディスクの実物



実寸大の単線シールドトンネルの構造



東京高速鉄道100形129号車両

る」へと続きます。トンネル掘削のシールドマシンカッターディスクの実物、実寸大の単線シールドトンネルの構造などが見られます。保守の現場で使う工具類も展示。総合指令所を模した体験展示では、実際の運行状況が表示されるなど、安全運行を保つ地下鉄の「いま」が学べます。

体験型展示のひとつ「東京高速鉄道(のちの営団地下鉄)」が渋谷~新橋間で走らせた100形129号車両は、運転席のハンドルを操作すると目の前の車輪が動きます。このほか昇降できるパンタグラフ実物など、子どもたちが夢中になりそうな仕掛けがたくさん。

2017年に引退した銀色にオレンジのラインを施した銀座線01系車両の先頭車カットモデル。定期的に行先表示幕を変え、「10月は鉄



計5路線が体験できる簡易型の運転シミュレーター、臨場感たっぷりの千代田線(右)



企画施設課 兼 収集・保管担当 主任  
小栗 優一さん  
(丸ノ内線展示車両にて)

道開業150周年にちなみ、行先表示を新橋にしました」と企画施設課兼収集・保管担当の小栗優一さん。

## 大人気の運転体験

順路に沿って「地下鉄プレイランド」へ。異なる形状の運転台が3台並んでいるのが「電車運転シミュレーター」です。銀座線、有楽町線(週替わりで半蔵門線)、東西線(同、日比谷線)の運転が体験できます。これを目当てにリピーターする来館者は多く、土・日・祝日



メトロパノラマ

は行列ができる人気のコーナー。実際の運転席からの映像と速度表示を見ながら走行し、駅の停止位置目標にピタリと止められるか? 運転士OBが運転のコツを伝授してくれます。

シミュレーターはもう1台。千代田線の運転体験ができる設備は、実物の車両と同様に作られており、走行すると動揺装置により、車体が揺れる仕組み。より臨場感を味わえます。

このほか、都心の地下を鉄道模型のジオラマで再現した「メトロパノラマ」も大人気。1日4回の運行時間は人垣ができるため、コロナ対策として平日の演出運転

に限っています。土・日・祝日にホールで上映する地下鉄建設記録映画も、熱心なファンを中心に人気があります。

## 予防保全の大切さ

小栗さんはシミュレーターの保守管理も担当。「故障などで休止し、楽しみにご来館されたお客さまをガッカリさせてはいけませんから」と予防保全の重要性を強調します。

空調制御も細心の注意で。プレイランドは「密」になりがち。来館者が快適な環境で楽しむため、温度管理に気を配ります。重要文化財の車両をはじめ、貴重な展示物を維持・保管する上でも温度・湿度管理はとても重要です。

キュービクルに案内してもらいました。「昨夏、コンデンサの異常があり、周辺の影響と診断していただきました。館内の温度管理に直結するもので気を使います」と小栗さんも、担当検査員のアドバイスに信頼を寄せている様子。

当協会は電気安全という共通の認識の下、これからも地下鉄博物館、メトロ関係者の皆さまのお手伝いを続けて参ります。